

思い感じたことを  
徒然なるままに

# くんぱるたより

H28 5/31 NO.63



## ☆ ステージにあがるには

5月だというのに夏のような暑さが続いております。暑さに慣れることが年々きつくなってまいりました笑。早いところは運動会も終わり、授業参観があり、と何かと小忙しい時期。子ども以上に大人が大変なのかもしれません。

さて、1年生のお子さんも小学生になり2ヶ月経とうとしております。少しは慣れてきたかな？とお思いになれるでしょうか？ウキウキの時期もあっという間で、学校でもくんぱるでも普通の学校生活が始まっています。社会の基本は日常の繰り返し。そして、どこにいてもその一日の流れというものが存在します。早くその場所ごとの流れ、習慣に慣れた子が自身にとっても過ごしやすい毎日を送ることができるのでしょ。

保育園なら保育園、小学校なら小学校、中学校やはたまた自分の住む地域・・・それぞれのルール、習慣に沿ったステージがあります。心持ち、心構えを場所ごとに変化、対応、適応する必要があります。保育園のステージのまま、小学校にあがるといわれる厳しいとか、ついていけないなど、親も子も困惑します。また、小中義務教育の日本では、留年はなく、レベルがどうであれどんどん学年もあがっていく。子どもはその環境についていけず、学校が嫌になる、くんぱるで言うとかんぱるが嫌になる、お父さんお母さんは困る。という負のスパイラルが生み出されます。環境に適應できないままの子どもたちが最も可哀想です。それを「個性だからうちの子はゆっくりで」みたいなことを言っているようでは今の時代???です。世の中って各社会ってそんなに甘くはありません。

個性とは、やることをやれる心構えが付いている状態で初めて尊重できるものではないでしょうか？やりたく



ない、行きたくないというような子どもの思いを尊重する前に、ステージごとで生き抜くために、やり過ごすのではなく、やるべきことをやるという姿勢、心構えを年齢に合わせて教え、理解させることが大切なのではないでしょうか？

ではどうするか。「親が先に手を貸さない、口を出さない」「人としての必要な礼儀、配慮を徹底して教える」「いい悪いの分別を教える」

ことではなかろうかと思えます。ルールがない無法状態は個人主義の極みで混乱、争いが起きることは必須。決まりを基に互いに折り合いをつけ、配慮し、協力し、思い合うことができるのでしょ。子どもに罪がないを前提に最近のおかしなニュースをみると、その心構えを教えることなく、自分が良ければいいという個性やら自由やらに流されてしまった大人に責があるように思えます。TPOに合わせた心構えを説く必要性もあります。

子どもたちの未来を思うと、親世代である我々大人がしっかりしないと、苦勞するのは我が子になります。恥をかくのは結果、親なのです。「そんなことも教えてもらってないの？」と社会に出た時に子が言われないうように、勉強をなささいよりもまずはあいさつをなささい、人にやさしくなささいなどの「人として当たり前のこと」をもっと徹底して伝えることをしたいです。それができてからの勉強であり、個性であるはずだと私は思っています。各ステージでのスタートを普通にスタートできるように大人がそのルールは引いてやらねばなりませんね。

子ども以上に大人の役割って大変ですね^^；

## ☆ お知らせ

- ・口座振替の用紙をまだご提出されていないお家の方は早急にご提出くださるようお願い申し上げます。
- ・利用予定の変更は当日午前中までにご連絡（電話、メール、LINE）くださるようお願い申し上げます。

